

No.036

# シヨロンで食す

## Sono Ken

中華街、そこには何か変わった食べ物があり、それはとても美味しいものだ。

生まれて初めて中華街を訪れたのは20年以上も前のこと。冬の神戸だった。華人の料理は私の期待を裏切らなかったが、それ以上の驚きが中華街にあった。ベトナム料理との出会いだ。

街には小さなベトナム料理屋があった。初めて接するベトナム料理である。どことなく中華風な装いで小皿に盛られた蒸し春巻きを食べた。料理の姿形は飲茶に似ているが、一緒に供された薄黄色の透き通ったタレは初めて知る味だった。風変わりで美味しいと思った。これがヌクナムに少量の水、砂糖、ニンニク、唐辛子を混ぜたヌックチャムと分かったのは、後年ベトナムを訪れるようになってからだ。

サイゴンに滞在している間は、中華街は美味しいという刷り込みのもとシヨロンに出向き、美味しいお店や屋台を探す。お勧めは夕方から夜にかけて出る屋台。サイゴンの味とは少し違う麺や炒め物を楽しみたい。



写真・文／園 健  
写真家。1994年に初めてベトナムを訪れ、以後ライフワークとしてインドシナの写真を撮影する。  
<http://sonoken.net>